

パパ・ママ子育て知恵袋

第33回は「第32回のつづき」

（思うようにいかない子供を）抑えつけようとする、大人もヒートアップして体罰や暴言になることがあります。私はパニックになっている子がいると、ひとまず「何かすること」をあきらめます。そして、ただ一緒にいる。時々、放っておく。けっこうなガマンが必要ですが、うまくいくと私の心がおだやかになります。

第32回の「ひとまず『何かすること』をあきらめます」というところに思った以上に感想をいただきました。

「子供のことをあきらめたくないから、ヒートアップします。その結果、いいことはほとんどないです。『ああ、またやっちゃった』と。『あたしは毒親かも…』」と思ってしまいます。でも、あきらめたら『負け』って感じで。あきらめたくはないです。でも……」
というお話をしてくださったママ。

そうそう、よくわかります。
私など、子供を叱ったとき「これは確実に子供のためじゃないな。自分の自己満足のため。自分のイライラ解消のためだな」と思ったことが何度もありました。ダメ父です。

「あきらめる」という言葉の語源を勉強しました。
そうしたら、「あきらめる」とは「明らかにして極める」という仏教用語なのです。ちょっと難しいですね。
私の解釈はこうです。

言うことをきかない、思うようにならない子供がイライラを爆発させて号泣している。明らかにするべきは「この子に今、何を言ってもどうにもならない」という事実です。この事実を突き詰めていくと「何もしてあげられない」ということに気づきます。さらに極めていくと「せめてそばにしよう」ということにたどり着きます。これが「あきらめる」ということではないかと。

ママさん。あきらめるってのは負けるってことじゃないみたいですよ。